

## 人工股関節・膝関節置換術患者における術後セフカペンピボキシル錠内服の中止可能性についての調査

河合 飛佳、坂井 良美、大城 里紗、有賀 千温、白土枝里子、鹿島 彩絵、  
結城沙英子、植木 彩、馬場奈津美、若林よう子、前原 大輔、土井本和久、福田 朝恵、瀬川 和子、  
垣尾 尚美、國東ゆかり

兵庫県立加古川医療センター 薬剤部

講演形態:一般演題

希望発表方式:02.ポスター発表

演題分類:21 その他

【目的】当院整形外科の人工股関節置換術(以下 THA)・人工膝関節置換術(以下 TKA)のクリニカルパス(以下パス)では、手術部位感染(以下 SSI)の予防抗菌薬としてセフォチアムやセファゾリンが使用されている。しかし、パスにおいて設定されている 3 日間の予防抗菌薬の投与後セフカペンピボキシル(以下 CFPN-PI)を継続内服する例が度々見られる。日本整形外科学会骨・関節術後感染予防ガイドライン 2015 では、人工関節置換術における SSI 発生予防のための抗菌薬の投与期間は術後 48 時間以内が適切であるとされている。そこで、CFPN-PI の術後継続投与中止の可能性について調査したので報告する。

【方法】調査期間は 2014 年 8 月 1 日から 2015 年 7 月 31 日までの 1 年間とした。THA 及び TKA を行った患者のうち CFPN-PI 継続投与群と非投与群において、それぞれ術後 6 日目・10 日目と術後 3 日目とを比較した。比較項目は、1)37℃以上の発熱の有無 2)CRP 減少率 3)創部腫脹、熱感、発赤の有無とした。データ抽出は診療記録から行った。

【結果】THA35 件、TKA73 件中 CFPN-PI を継続投与していたのはそれぞれ 18 件(51.4%)、27 件(37.0%)であった。パス抗菌薬終了後の術後 4 日目以降における CFPN-PI 継続投与群の投与期間は THA で  $5.2 \pm 1.5$  日(3 日-10 日)、TKA で  $5.6 \pm 2.1$  日(2-12 日)であり、術後 6 日目・10 日目と術後 3 日目との各比較項目では両群の間に統計学的有意差はなかった。

【考察】今回の調査では、パス終了後の CFPN-PI 継続内服が術後の炎症反応や身体所見の改善に有用といえる結果は得られなかった。しかし抗菌薬の不適切な使用は耐性菌出現の温床になったり、抗菌薬関連下痢症が発生するなど患者に不利益が生じる可能性がある。

術後感染予防抗菌薬臨床試験ガイドライン(2007 年)修正版では 2 群比較において各々 100 例以上あることが望ましいとされており、CFPN-PI の術後継続投与中止の可能性について評価するため、今後も調査を継続していきたい。